

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員

# 池田まさよし 通信

発行：池田まさよし事務所

【第24号】

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ <http://www.ikedakai.net>



京都府議会議員  
池田正義

私は2期目の4年間、多くの皆様のご支援をいただきながら自由民主党の舞鶴市選出の京都府議会議員としてその責務を全うすべく課題解決のために、国・府・市の力強い連携のもと、活力ある地方創生実現のため議員活動をしています。

2月定例府議会において、西脇知事から「平成31年度の府政運営～新しい京都の未来への挑戦～」として、一般会計889,787百万円をはじめ総額約1兆4,796億円の平成31年度当初予算として編成され、現在予算委員会等で審議中です。さて、舞鶴市は京都縦貫道の全線開通、舞鶴若狭自動車道の全線供用、新名神高速道(城陽～八幡京田辺間)の開通により、高速ネットワークが繋がり、物流や観光産業等に大きな利便性をもたらしました。私はその好機を逃すことなく、更に日本海側の拠点港である「京都舞鶴港」の機能強化を図り、LNG(液化天然ガス)基地・ガスパイプラインの誘致やメタンハイドレード資源の調査・採取技術開発等をすすめ、地方創生のモデル地域となるよう「舞鶴から希望の京都をつくろう」をスローガンに、未来に向かって輝くまちづくりを国・府・市と連携を密にしながら、全力で取り組んで参ります。

## 2期目 府政4年間(平成27年～31年)の活動実績を振り返る

### 機能の充実と強化が進む日本海側拠点港「京都舞鶴港」

- **物流基盤重点整備事業(多目的クレーン整備)**
  - ・国際ふ頭にコンテナ船・バルク船同時着岸時及び既設ガントリークレーン故障時の機能確保のため、多目的クレーンを設置
- **重要港湾京都舞鶴港物流機能強化事業**
  - ・日本海側拠点港として、国際ふ頭の延伸や埠頭用地の整備を実施
- **港湾機能の舞鶴移転で京都舞鶴港の発展を加速**
  - ・府港湾課を舞鶴市へ移転し、港湾事務所の一元化、海外経済課を設置
- **国際ふ頭整備後、北部地域において21社が企業立地、455名の新規雇用**
- **コンテナ取扱量の増加に伴い、未利用地の有効活用や現況のコンテナターミナルの設備の導入について**
  - ・中長期計画「舞鶴港港湾計画」(改訂版)の中で将来ビジョンとして、4段積み可能な荷役機器トランスファークレーンの導入や舞鶴国際ふ頭の岸壁拡張、第二埠頭をクルーズ客船の旅客専用再編整備、前島埠頭は国内フェリーと国際フェリーの一体的なターミナルとして整備及び西舞鶴道路に接続する港湾道路上安久線の整備促進
- **釜山港との定期コンテナ航路の貨物量の好調堅持**
  - ・釜山港との連携強化、韓国・中国・ロシアとの貿易拡大、集貨・背後地への企業誘致による新たな貨物獲得を進める
- **日韓の世界遺産を繋ぐ新たなルートとして韓国・浦項港との交流促進**
  - ・世界遺産を生かした新たな観光ルートの形成や物流に大きな可能性があり、浦項市、舞鶴市と港湾管理者の京都府で「経済交流の促進に関する協定書」を締結
  - ・平成27年7月、ロシアのウラジオストクと韓国の東海港を結ぶ日韓露国際フェリー航路が開設
- **外航クルーズ船増加に伴う港機能の強化について**
  - ・乗客客に「寄港したい港」に選ばれる情報提供やおもてなしの向上と整備の進行を図る
  - ・大阪・名古屋・東京にて「クルーズセミナー」を開催し、PR活動を行うとともに企業への集貨活動を実施
  - ・海の京都DMOと連携した情報提供や「海の京都駅(仮称)」による滞在時間の延長や「海の京都」への誘客を目指す



代表質問にて港湾部門舞鶴へ移転示される



舞鶴国際ふ頭機能強化事業式典



京都舞鶴港



浦項港←→舞鶴港 第1回フェリートライアル



クルーズ船出迎え

### 充実する高速交通網で京阪神と直結

- **京都縦貫自動車道全線開通(H27年7月)**
  - ・京都縦貫道・舞鶴若狭道・京都第二外環状道路等がループとなり、海の京都DMOとの取組と併せて交流人口の増加に繋がる
  - ・京丹波PAに「道の駅 京丹波味夢の里」を併設
- **府道小倉西舞鶴線街路事業**
  - ・舞鶴市民病院の建設に併せて、国道27号西舞鶴道路との交差点付近渋滞緩和のため伊佐津川より東へ約320m区間の拡幅整備
  - ・白鳥トンネルを含めた約1.4kmの4車線化で渋滞改善と歩道設置による通行の安全確保を図る(平成32年度完成を予定)
  - ・港湾道路や国道27号西舞鶴道路は港湾計画目標年次の平成30年半ばの供用を目指し進行中
- **国道175号線交通安全施設整備事業**
  - ・府道念仏峠線との交差点を含む区間の道路改良と歩道整備
- **日本海側国土軸の必要性を強調**
  - ・新幹線のルート選定は、日本の将来を見据えて行われるものであり、国家戦略としての日本海側国土軸の必要性を踏まえてルートを決すべきものである引き続き、今後もこれからの日本海側の発展を最大限に引き出す、地方創生回廊としての日本海側国土軸の形成の重要性等を北陸から九州までの日本海国土軸が形成されることで、産業、交流等の現在生じている他地域との格差が是正される。ひと・物の交流が生まれ、雇用の創出、地方創生の加速に繋がる



味夢の里



府道小倉西舞鶴線日赤病院前

### 府民の安全を自然災害から守る

- **内水対策のため国・府・市連携のもと、志高地区に排水ポンプ車の配備を実施**
- **志高地区急傾斜地崩壊対策事業**
  - ・がけ崩れによる災害を防ぎ、併せて物資輸送道路機能確保のため実施
- **舞鶴市西地区の浸水対策についての河川整備計画進行**
  - ・「高野川流域における総合的な治水対策に関する調整会議」を開催し、協議・調整
  - ①高潮対策：市が排水路等からの逆流を防止するためのフラップゲート(逆流防止弁)を高野川への排水口に設置
  - ②洪水対策：府が高野川の堤防の必要な箇所の高上げや流下能力が不足する箇所の河道断面拡大、河床掘削実施
  - ③内水対策：市による内水排除ポンプの設置と貯留施設等の整備実施
  - ・府と市が連携して30年度から治水対策に着手(床上浸水対策特別緊急事業(概ね5年間)を要望中)



排水ポンプ車



高野川視察

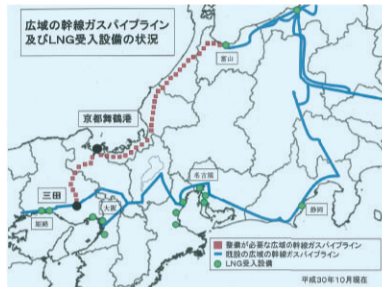
●伊佐津川に架かる大和橋の架け替えについて

・架橋後80年が経過し、塩害による老朽化が著しい大和橋について、地域の産業振興や通学路、日常生活の機能確保のため架け替えを要望中

地理的優位性を活かした産業・観光の発展を

●天然ガスを供給するLNG基地とパイプラインの整備を目指して

・京都舞鶴港を拠点に日本海側で天然ガス供給の体制整備が重要課題  
・日本海側の地理的優位性を活かしながら構想実現に向け、国・ガス事業者・専門家・地元経済界を委員とする研究会の設置  
・府とアラスカ州がエネルギー資源に関する覚書を締結  
・京都舞鶴港は対岸諸国との交流による経済の活性化やフェリー、クルーズ船による観光の玄関口として、さらに舞鶴火力からバイオマス、LNGまでのエネルギー基地など、関西を牽引する港として期待がかかる  
・京阪神や中部圏など、広域の貨物を集めるポートセールスを強化し、新規航路の開設に向け、船会社への働きかけを展開  
・経済産業省のガスシステム改革小委員会にて、新潟～舞鶴～三田ルートが広域ガスパイプラインのモデルコースとなる



LNG基地を京都舞鶴港に

●平成32年度稼働を目指した木質バイオマスや発電所の事業化を進行

・LNG基地や日本海側と太平洋側を横断する広域ガスパイプラインは、国土強靱化、リダンダンシーの観点からも重要であり、京都舞鶴港を中心としたエネルギー拠点の形成、産業集積による北部地域の振興促進が課題  
・平成27年9月「北近畿エネルギーセキュリティ・インフラ整備研究会」を立ち上げ、府でも研究会と並行して、「ガスパイプライン沿線事業所のガス転換需要の調査」「効率的な敷設方法の研究とその概算費用の算出」「LNG基地の整備に関するシミュレーション」「エネルギー関係企業への事業可能性や課題抽出ヒアリング」と、その中で関心の高かった7つの企業との勉強会等を実施

●観光と地域づくりを一体化した観光振興に取り組む「海の京都DMO」を設立し、「海の京都博」「まいづるまち博」「海のみやこの物語」ほか各事業の展開

●「京都府北部地域連携都市圏構想」を支援

・観光・経済・教育・移住定住・行政サービスの効率化等の取組を連携  
・北部5市2町のもつ高いポテンシャルを活かすことで、北部地域の人口減少克服を目指す  
・京都DMOの設立により、DMOと連携した観光振興、農商ビジネス商談会や合同面接会の実施、図書館の相互利用の展開



海の京都博 式典に参加

●府北部地域の地方創生に取り組む道筋と支援方策について

・府として、京都舞鶴港の機能強化、北部産業創造センターの有効活用、観光客の北部地域への周遊促進を進める。また、観光・経済・移住・教育・生活インフラ等、様々な分野での市町村の連携を促し、成果を着実に積み重ねる  
・人口減少下において、行政サービスの持続性確保が重要課題であり、広域連携・広域行政の取組の中で、新たな事務の共同化・効率化を検討



舞鶴引揚記念館

●歴史・文化・スポーツによる地域の活性化

・国際博物館会議 (ICOM) 京都大会のプレ大会「ICOM舞鶴ミーティング2018」の開催により北部地域の博物館活動の活性化、文化振興の好機となると同時に、府内各地の文化資源を紹介



西脇隆俊京都府知事とともに

●有害鳥獣被害対策について

・農作物以外の面でも鳥獣被害が増えているため、メスジカの捕獲単価の引き上げや補助対象頭数の上限数の増加で捕獲を強化、イノシシは電気柵と捕獲オリとの併用、サルは人家周辺に出没時には麻酔銃使用、ツキノワグマは、人命第一に有害捕獲許可に努めていく



捕獲オリの設置

●定置網被害に対して、補助金実現

・自民党議員団の努力により、京都府で初めて水産災害に対して府・市・町あわせて1億7,000万円の補助金実現



台風21号 田井地区

●森林水源地域の保全条例について

・水源涵養機能の維持を図るため、「森林水源地域」、「重点森林水源保全地区」として指定し、取水に規制を設ける ※簡易水道、農業排水、すでに商業的に利用されている取水は規制対象外

地域医療の連携と充実、安心の暮らしを目指して

●北部地域で適切な医療を受けるための医師確保

・北部医療センターを府立医大付属病院化し、診療科の拡充や地域への医師派遣回数を大幅に増加、また、奨学金や研修・研究費の補助、臨床現場体験学習の実施などにより、北部医療機関での勤務につなげるよう医師確保に努める



安心して出産・子育てができる環境

●舞鶴医療センターに産婦人科医2名派遣を決定(平成31年4月から)

・これまで求めていた北部医療供給体制の充実による、安心して出産・子育てができる環境づくりのため

●北部リハビリテーション支援拠点の充実強化

・北部地域における高齢化等によるリハビリテーション需要への対応のため「北部リハビリテーション支援センター」を中丹保健所に開設  
・高次脳機能障害の相談場所がない等の課題から舞鶴赤十字病院において、北部地域で初めて高次脳機能障害の専門外来を開設



京都府中丹東保健所

次代を担う人づくり、教育への取組

●主権者教育「出前高校生議会」等を各地で開催、府議会傍聴など

●「多様で適切な学習活動の重要性」のもと、不登校の児童生徒の教育機会を確保し、学びを支援

・「聖母の小さな学校」をはじめとして、府認定フリースクールで子どもたちの自立に向けた様々な取組を実施  
・学校復帰や希望進路の実現を目指し、フリースクールと、学校・市町教育委員会との連携の強化



出前高校生議会



聖母の小さな学校にて

KBS京都 府議会カフェ



2017年11月26日に放映されました。

農商工労働常任委員会委員長として出演しました。

池田まさよし事務所 ご案内

西事務所 (舞鶴市南田辺71番地1) 東事務所 (舞鶴市森本町29-5)



TEL(0773)77-1722 FAX(0773)77-1723



TEL(0773)77-5670 FAX(0773)77-5671

お気軽にお立ち寄り下さい



ホームページで池田まさよしの活動報告をご覧ください

市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。